

白子川地下調節池及び石神井川取水施設の取水開始について

標記の件について、東京都第四建設事務所から連絡があったので、概要について報告をする。

1 白子川地下調節池とは

大型台風などで水位が上昇している白子川・石神井川から、調節池に取水を行い、河川の水を一時貯留させることで下流域の浸水被害を軽減させる施設。貯留した雨水は、洪水のピークが終了し平常水位に戻った後に、排水ポンプを使用し貯留水を河川に排水をする。

2 施設概要

(1) 白子川立坑（発進立坑、取水口）

- ・場所 練馬区大泉二丁目地内、東京外環自動車道大泉ジャンクション内
- ・立坑の概要 内径約 21m、深さ約 45m

(2) 石神井川立坑（到達立坑、取水口）

- ・場所 練馬区高松三丁目地内、目白通りと環状八号線が交差する練馬中央陸橋付近の敷地内
- ・立坑の概要 内径約 20m、深さ約 47m

(3) トンネル本体

- ・トンネルの概要 内径 10.0m、延長約 3.2 k m、貯留量 212,000 m³（プール約 700 杯分）

3 施設の取水開始

平成 29 年 4 月

白子川地下調節池及び石神井川取水施設の取水開始について

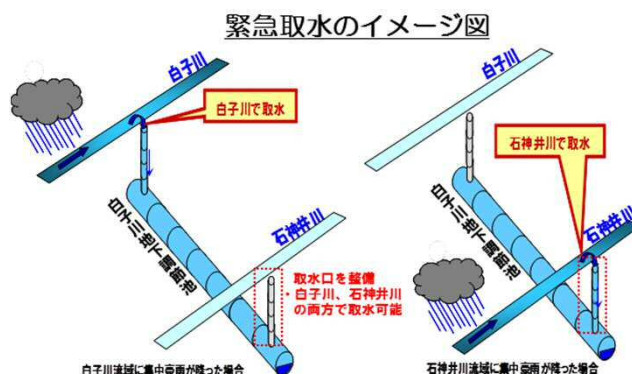
◇ 白子川地下調節池

白子川地下調節池は、練馬区大泉二丁目地内の東京外環自動車道大泉ジャンクション内の発進立坑（内径21.0m、深さ45.0m）から、石神井川と都道環状八号線の交差点付近、同区高松三丁目地内にある到達立坑（内径19.5m、深さ46.5m）迄の延長約3.2kmをシールドトンネルで構築した調節池です。平成26年1月にシールドトンネル工事が完了し、平成29年度から取水を開始しました。

◇ 石神井川取水施設

石神井川では、平成22年7月の記録的豪雨により、流域に大きな浸水被害が発生しています。このため都では、「緊急豪雨対策」を策定、石神井川の洪水を白子川調節池に取水し、安全性の向上を図ることとしました。

白子川地下調節池の到達立坑敷地内において石神井川取水施設の本体工事が完了し、平成29年度から取水を開始しました。



■ 平面図



■ 白子川調節池群



■ 石神井川取水施設

